

運用業務の自動化状況の評価

- 他社はどこまで運用業務を自動化しているのか？
- ベストプラクティス企業はどこまで進んでいるのか？
- 自社の運用業務の自動化をどのように推進すべきか？

上記の課題に対して貴社の現状を明らかにし、改善指針を提供！

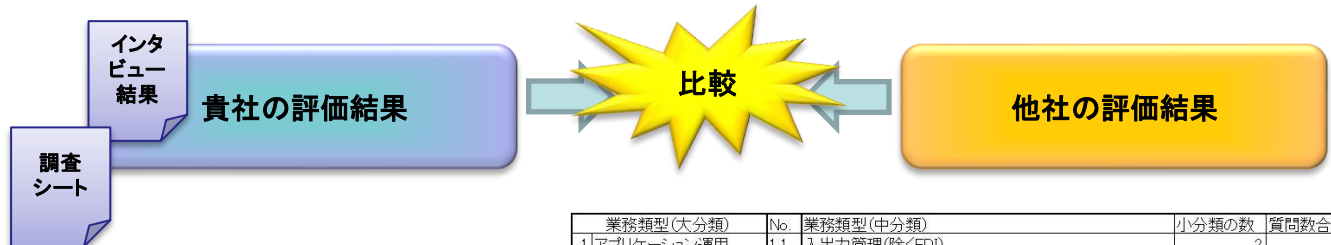
本サービスの概要

「情報システム運用業務の自動化状況の評価」は、企業情報システムの運用業務における、業務のシステム化ならびに自動化の状況について、複数の企業について調査・情報収集を実施し、比較・分析ならびに評価を行い、情報システム運用業務の生産性向上に資する情報提供いたします。

《 分析・評価方法 》

あるアプリケーション・システムについて、その情報システム運用業務の個別業務ごとに、「何が・どの程度自動化されているか」をアプリケーション・システム単位で分析します。自動化状況に関する定量的な情報は、以下の方法で収集します。

- ・調査シートに回答（個別業務ごとに質問を設定）
- ・上記回答内容に関するヒアリング



情報システム運用の個別の業務について、右記の分類（大分類・中分類・小分類）を行い、それぞれに自動化の状況に関しての質問（調査シート）を設定し、評価します。

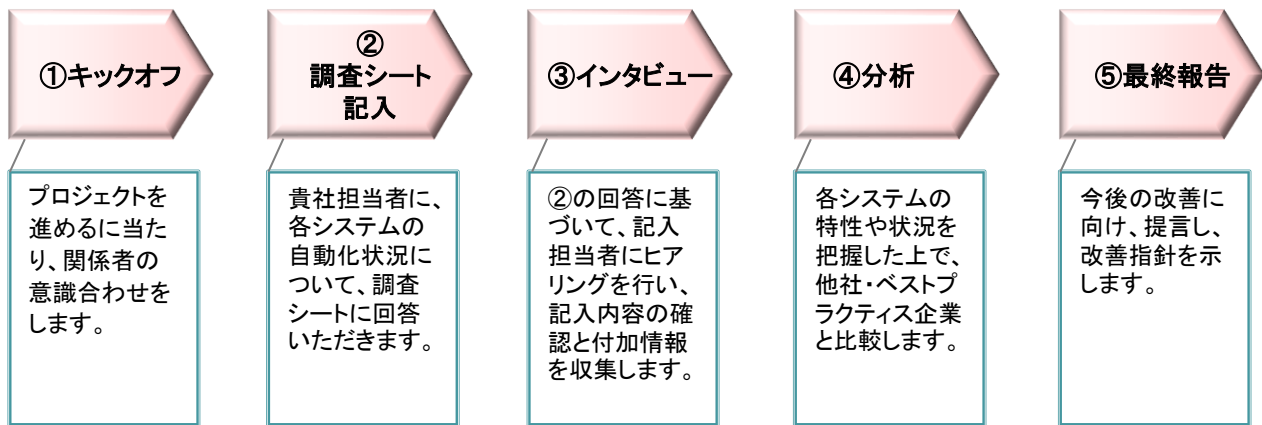
業務類型(大分類)	No.	業務類型(中分類)	小分類の数	質問数合計
1 アプリケーション運用	1.1	入出力管理(除<EDI)	2	7
	1.2	JOB管理	4	10
	1.3	倉庫管理	4	22
	1.4	バックアップ/リストア管理(自動バックアップ、媒体)	4	9
	1.5	DB管理	4	9
	1.6	ライブラリ管理	3	4
2 システム/ネットワーク	2.1	稼働監視/障害検知	2	37
	2.2	自動オペレーション	1	2
	2.3	イベント表示	1	7
	2.4	キャパシティ・スレッショールド監視	6	15
	2.5	レスポンス監視	2	6
3 運用管理	3.1	インシデント管理	5	12
	3.2	構成管理	7	9
	3.3	キャパシティ・パフォーマンス管理	6	24
	3.4	問題管理	3	6
	3.5	変更/リリース管理	4	8
	3.6	課金/振替処理	4	7
	3.7	設備管理	5	12
	3.8	ネットワーク管理	2	4
	3.9	ソフトウェア管理	3	9
	3.10	プロビジョニング(リソース配置)	3	6
	3.11	システム自動生成	2	7
	3.12	セキュリティ管理	3	6
総合計			80	238

*上記評価項目は、2021年1月時点の例です。

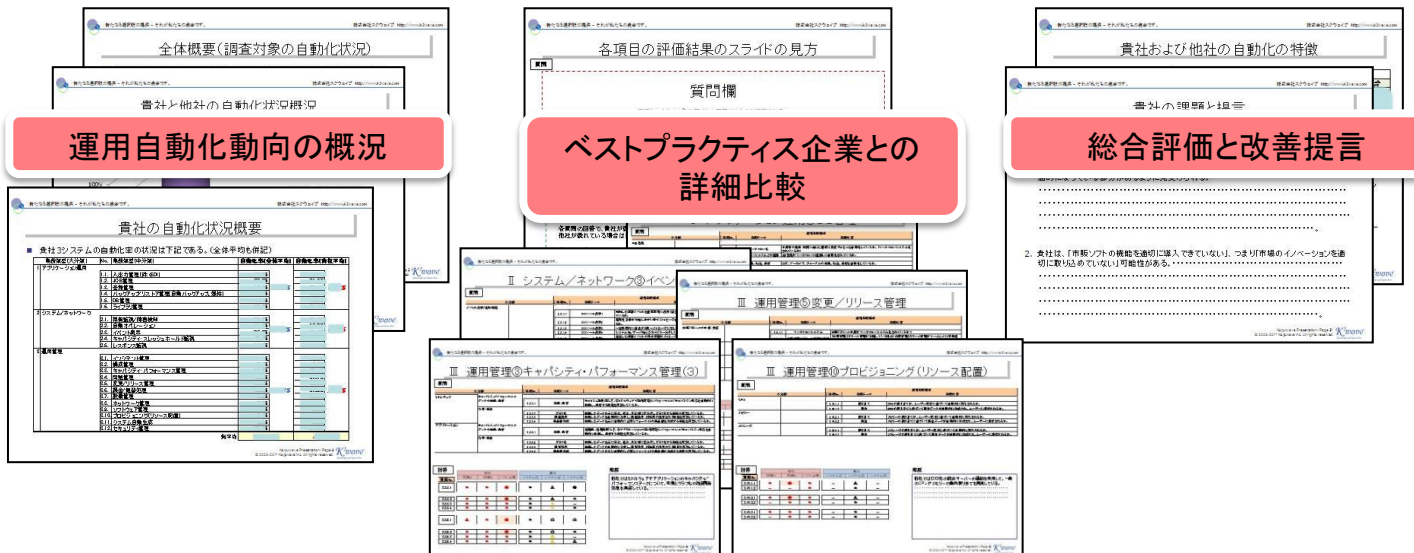
本サービスの導入メリット

- 1 自社の情報システム運用業務のシステム化・自動化の全体状況を、「他社・ベストプラクティス企業との比較」という観点から概観し、自社の傾向や特性について把握し、改善の方向性を見出すことができます。
- 2 情報システム運用業務の個々のプロセスを、「他社・ベストプラクティス企業との比較」という観点からチェックし、個々のプロセスごとに、詳細な観点から、さらなる生産性向上のためのヒントを得ることができます。
- 3 他社・ベストプラクティス企業が「情報システム運用業務の自動化」という観点でどのような取り組みを行い、どのような成果が得られたか等、他社の情報を得て自社の取り組みに活かすことができます。

本サービスの流れ



成果物イメージ



価格

キャンペーン価格別途提示

*ただし調査実施先が東京近郊以外の場合、交通費・宿泊費は、実費精算になります。